

## 2050 年までに達成を目指す ESG にかかわる中長期目標を策定しました

- 国内線・国際線の運航で発生する CO<sub>2</sub> 排出量を 50%削減します(2005 年比)
- 航空機の運航以外で発生する CO<sub>2</sub> 排出量をゼロにします
- 資源類の廃棄率をゼロにします
- 機内食などの食品廃棄を 50%削減します

ANA グループは、ESG 経営のさらなる推進に向けて 2050 年までに達成を目指す ESG にかかわる中長期目標を策定しました。これまでの取り組みをさらに進化させ、目標達成を目指します。また、定期的に取り組み状況を開示するとともに、ステークホルダーとの対話から社会の要請を把握し、適切に対応していきます。

ANA グループは、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を乗り越え、事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献するため、安全を経営の基盤、社会への責務として、環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) に配慮した ESG 経営を推進しています。

## 2050 年までに達成を目指す目標および取り組み内容

1. 航空機の運航で発生する CO<sub>2</sub> 排出量を 2005 年比で 50%削減(2019 年比で 66.6%削減)します
  - ・航空機の技術革新により開発された、省燃費機材や改良型エンジンの導入等
  - ・運航方法の工夫やエンジン洗浄等によるオペレーション上の改善
  - ・SAF (Sustainable Aviation Fuel)<sup>注1</sup> の導入
  - ・排出権取引制度<sup>注2</sup> の活用
2. 航空機の運航以外で発生する CO<sub>2</sub> 排出量をゼロにします
  - ・空港車両等へのハイブリッド自動車、電気自動車、燃料電池自動車の導入
  - ・自社施設や設備等の省エネ機器へ更新
  - ・省エネを実施したうえで、再生可能エネルギーへ移行
3. 資源類の廃棄率をゼロにします
  - ・プラスチックや紙等を中心に、資源類の利用量削減、再利用、リサイクルの 3R<sup>注3</sup> を推進
4. 機内食などの食品廃棄を 50%削減します
  - ・食材の調達、調理、食事の提供、廃棄を通じた製品ライフサイクルの中で食品廃棄を削減

## SDGsの達成年である2030年に向けて継続的に取り組む内容

### 1. 人権尊重の徹底

・「国連のビジネスと人権に関する指導原則」に則り企業活動において人権尊重を徹底

### 2. 責任ある調達の実現

・環境や人権に配慮した調達の徹底  
・公正公平で透明性を持ったサプライチェーンの構築

### 3. イノベーションを活用した社会課題への解決

・アバター、ドローン、MaaS等の活用と異業種連携により、新たな価値を提供

### 4. 持続的成長を担うひとづくり

・企業の持続的な成長に向け、人材の育成、働き続けられる環境整備、人的生産性向上の実施

### 5. お客様の多様性への対応

・お客様一人ひとりの多様性を尊重し、ハード・ソフトの両面でユニバーサルなサービスを促進

### 6. 生物多様性の保全

・野生生物違法取引防止に向けた取り組み等を推進

### 7. 地域創生

・社会課題解決を通じた地域活性化、社会貢献活動の実施

注1 Sustainable Aviation Fuel・・・原材料の生産・収集から燃焼までの過程で、CO2の排出量が少ない持続可能な供給源から製造されるジェット燃料

注2 航空業界以外の業態で削減できたCO2の排出枠を購入することで地球全体の削減に繋げるシステム

注3 Reduce(資源類の利用量を減らす)、Reuse(ごみにしないで再利用する)、Recycle(使い終わったものを資源として製品を作る)

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

